

定額減税調整給付金や非課税世帯等への給付金の支給など

議案第 45 号 令和 6 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について

質 疑

医師確保奨学金

3,280 万円の増

問 来年度の募集を含めた今後の見込みについて。

答 今年度は 10 名全員が貸付けを承認されています。今後 2 次募集は行わず、令和 7 年度以降引き続き年度当初に募集し、中長期的な医師の確保につなげたいと考えます。

問 研修医を指導する医師の確保なども考慮し、今後の受入れ等について想定されているか。



答 病院の建て替えによる病床数や診療科の減などにより、医学生の意向に添うことができない状況も想定されます。神戸大学の医局と調整しながら医学生の不利益にならないよう、病院事務局とも協議検討していきます。

給付金・定額減税一体支援事業

4 億 3,195 万 1,000 円の増

問 住宅ローン控除やふるさと納税に対する定額減税の影響は。

答 住宅ローン控除は定額減税控除前の所得割額から差し引かれ、ふるさと納税の控除上限額は定額減税控除前の所得割額で判定されます。そのため、定額減税は住宅ローン控除やふるさと納税に影響しません。

問 住民税非課税など定額減税しきれない場合などの給付について。

答 本人と扶養親族 1 人当たり所得税 3 万円と個人住民税所得割 1 万円の合計 4 万円を減税しきれない方には調整給付金を支給します。対象は約 8,000 人と見込んでいます。また、令和 6 年度に新たに非課税となる世帯や均等割のみ課税となる世帯に対して、1 世帯当たり 10 万円、18 歳以下の子供 1 人につき 5 万円を加算して支給します。

問 定額減税開始に伴い詐欺事案も発生しているが、市民への周知は。

答 広報かさいに加え、対象者に郵送する書類でも注意喚起を行います。

農政推進事業

100 万円の増

問 集落営農組織の高齢化や人材不足について対策を進める必要がある。集落営農活性化プロジェクト促進事業補助金の要望が 1 団体と少ないが、市の考えは。

答 農業人材の確保は喫緊の課題です。この事業に限らず、様々な事業を調査し、各組織、生産者に合った取組を提案する仕組みを掘り下げ、より確実に情報が手元に届くよう取り組みたいと考えます。

道路維持費

3,440 万円の増

問 工事請負費の増額理由は。

答 社会資本整備総合交付金の内示を受け、市道玉丘常吉線の玉野六差路交差点前後の舗装修繕を行うとともに、市道中野綱引線の通学路を整備します。

問 玉野六差路交差点は新病院や中学校の建設地に関連した道路にあり、通勤時間帯は右折が難しい状況が見受けられる。今後の道路整備の計画は。

答 交差点の道路改良計画は現在ありませんが、今後、中学校や病院建設などを踏まえ、交通量を見ながら県と相談し、必要であれば整備したいと考えます。



バス輸送調査委託料

600 万円の増

問 スクールバスの運行調査の目的は。

答 学校再編において、相当な台数のスクールバスが必要となります。専用のスクールバスだけでなく既存の公共交通、地域主体型交通も含めた活用など、多角的な分析ができるよう市全体で検討していきます。

討 論

賛成

・医師確保奨学金の増額は、加西病院の医師確保の課題に中長期的に対応しようとするもので、評価する。今後も計画的な人材確保をお願いしたい。あわせて、指導医などの確保にも取り組んでいただきたい。（本会議）

・定額減税に伴う給付金の支給等については、物価の高騰による生活への影響が続いている中、一日でも早く支給できるよう、また誰一人取り残すことなく支援されるよう、速やかな執行をお願いしたい。（本会議）

・スクールバス輸送の調査委託は、学校統合による検討から全市的に公共交通、移動支援全体の視点へ方向転換されようとしている。登下校時の熱中症の課題などへの対応についても期待したい。（本会議）

議決結果

全会一致で原案可決

